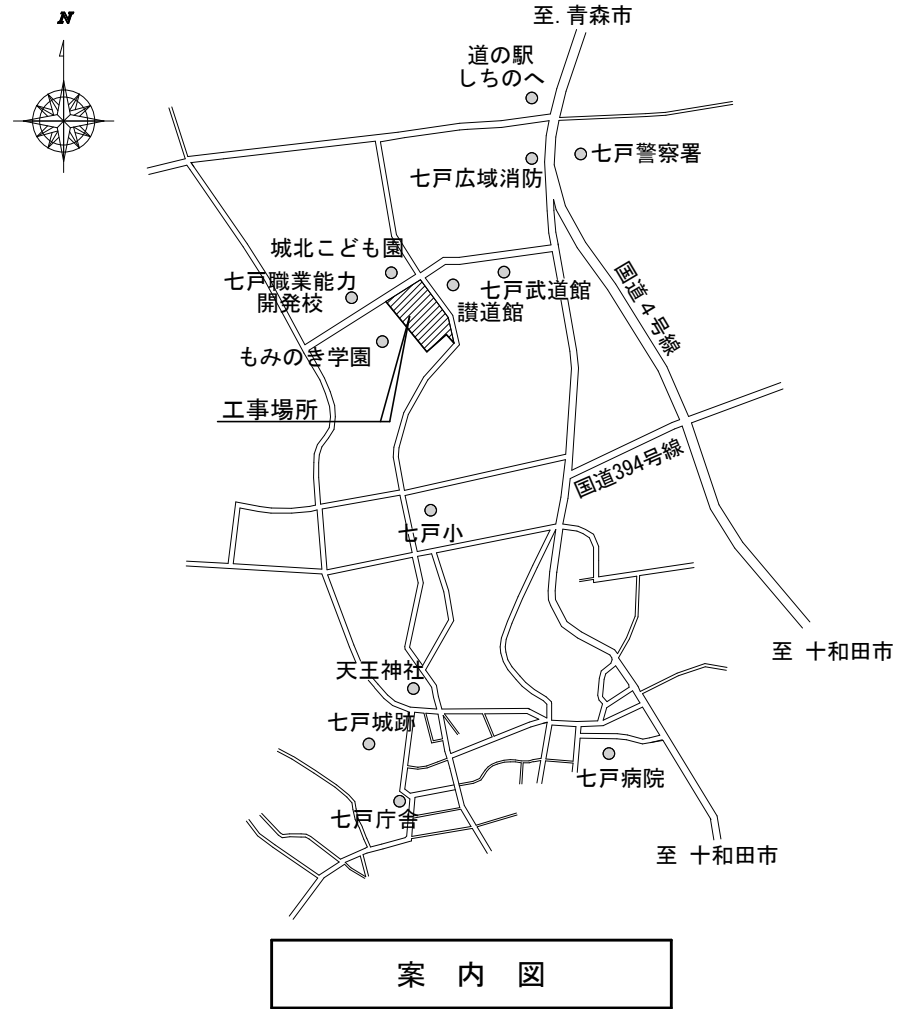


七戸養護学校焼却炉解体工事

設計図

| 図面番号 | 図面名称 |
|---------|-------------|
| A-000 | タイトル、図面リスト |
| A-001-1 | 特記仕様書 |
| A-001-2 | 特記仕様書（補足） |
| A-002 | 案内図、配置図 |
| A-003 | 平面図、矩計図、立面図 |
| A-004 | 焼却炉洗浄仮設計画図 |
| | |
| | |
| | |
| | |

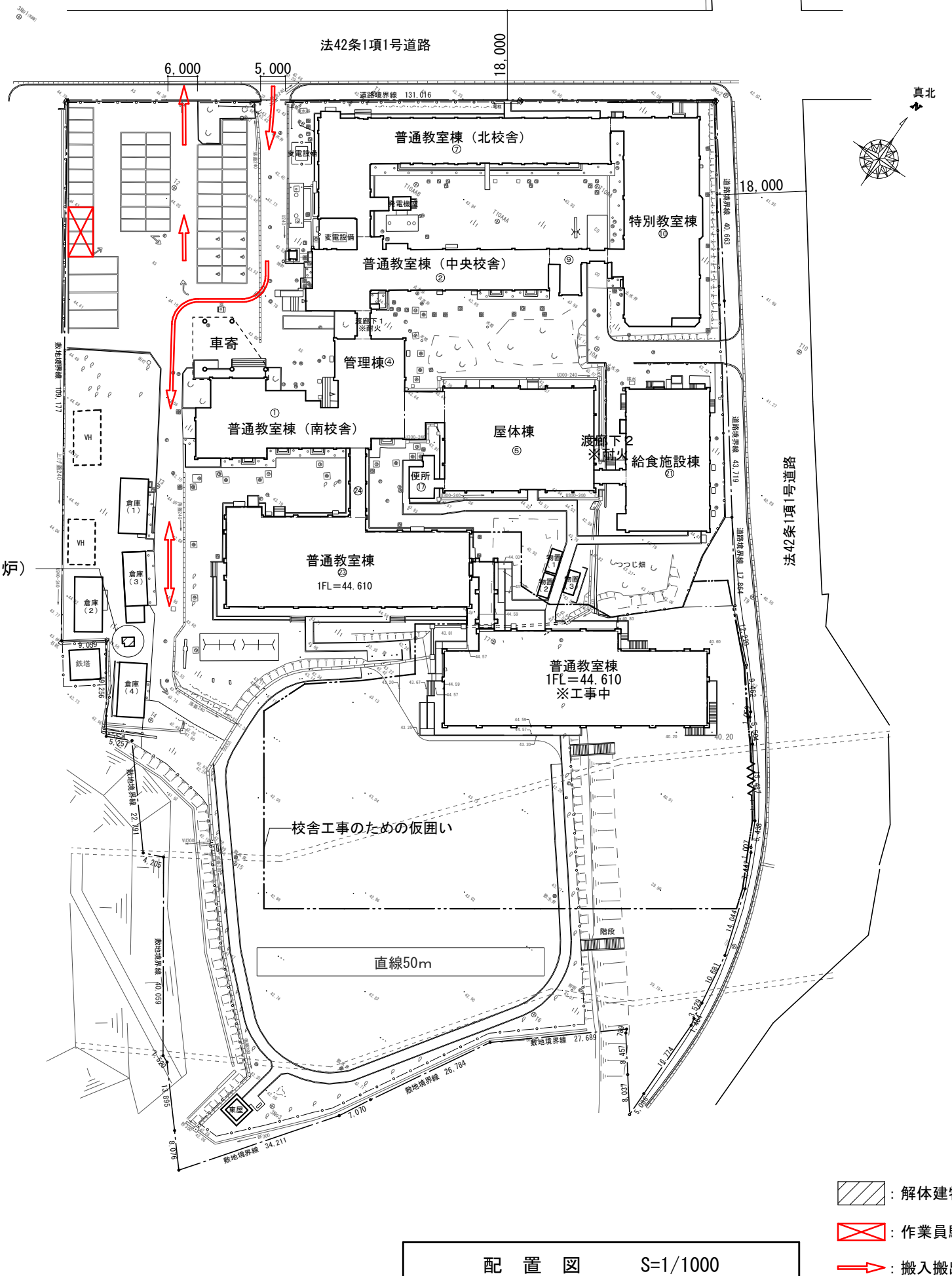
| | | | | | | | | | |
|---|--|-------|--------|------|------------|--------------------|--------------------------|---------------------|--|
| 〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町 2-4 1 TEL 0176 (25) 2100 (代) FAX 0176 (25) 2101 一級 青森県知事登録 第 397 号 |  株式会社 石川設計 | 検印 | 主任担当 | 担当 | 担当 | No. 2572-00 | 工事名 七戸養護学校焼却炉解体工事 | 図面番号 A-001-2 | 設 計 1級建築士登録第 328640 号 加賀沢 香 |
| | | 設計年月日 | R 8. 3 | 図面名称 | 特記仕様書 (補足) | | 縮尺 | NON | |



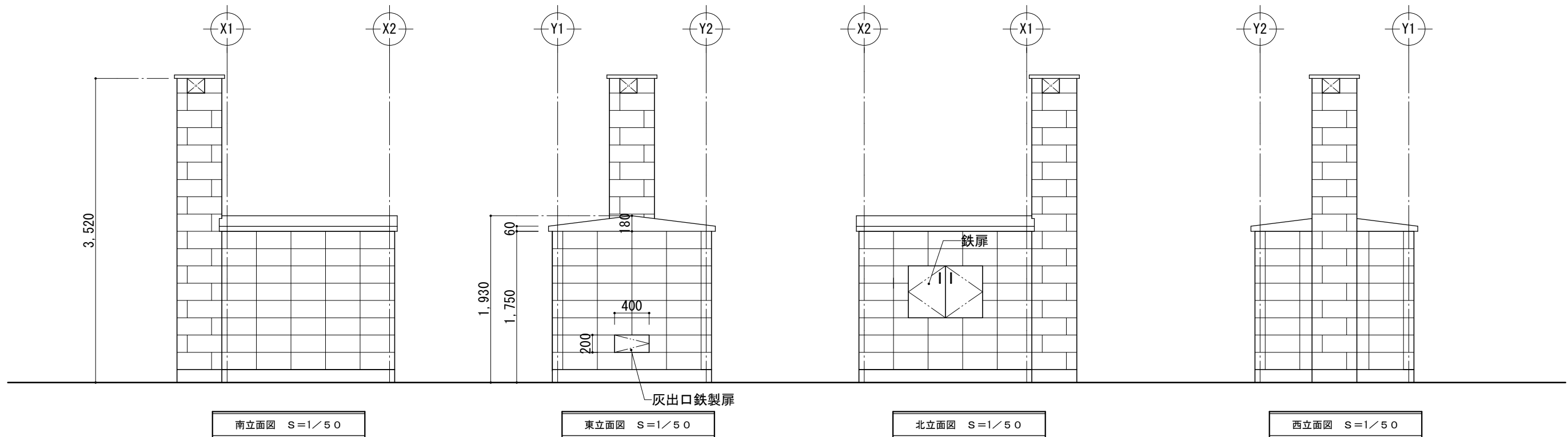
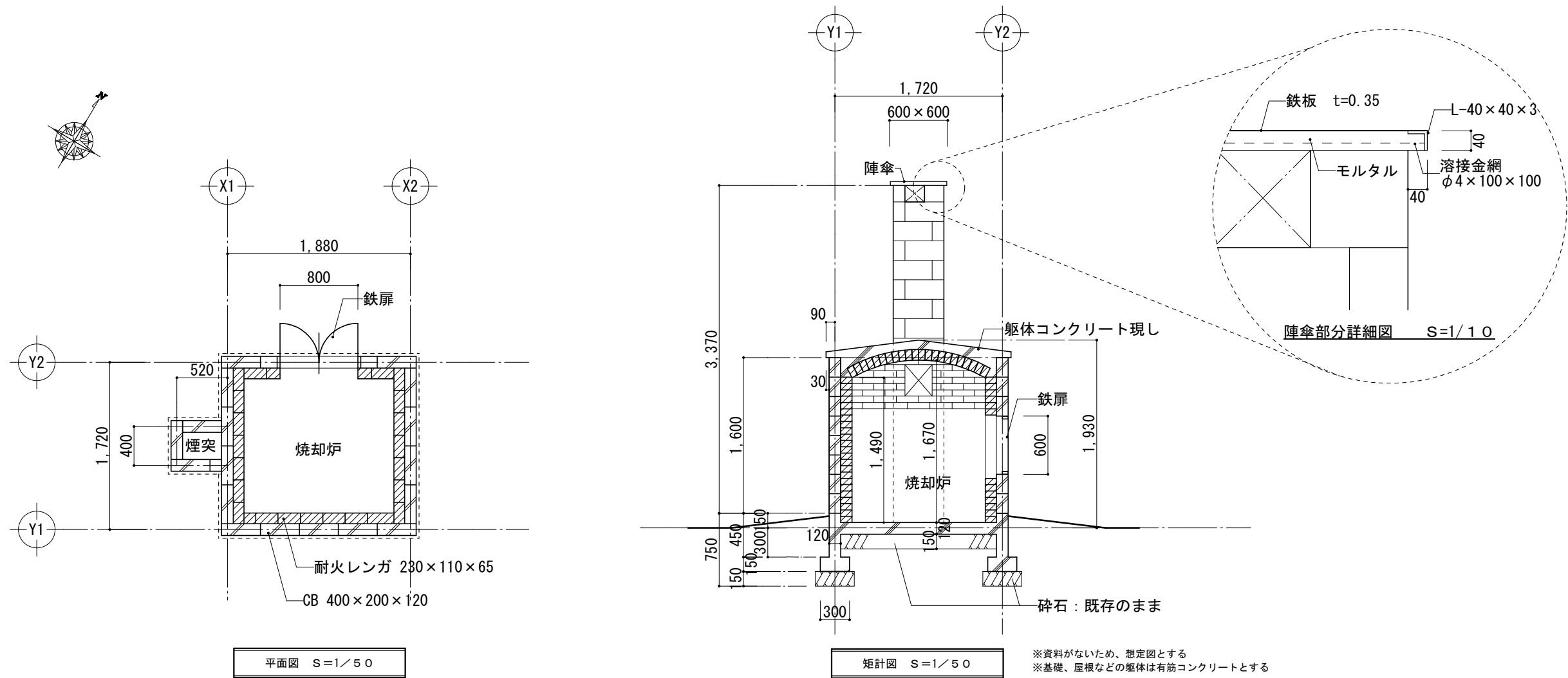
【解体建物一覧表】

| | | | | |
|--------|---|--|--|--|
| 棟 | 焼却炉 | | | |
| 用途 | ごみ焼却場 | | | |
| 構造、階数 | コンクリート・ブロック造 平屋 | | | |
| 耐火・準耐火 | その他 | | | |
| 延床面積 | 3.23 m ² | | | |
| 建築面積 | 3.23 m ² | | | |
| 最高の軒高 | 1.75 m | | | |
| 最高の高さ | 3.52 m | | | |
| 備考 | <div>・焼却炉内の堆積物等の除去作業を行う</div> <div>・建物を解体する</div> <div>・解体後の地盤は荒整地とする</div> <div><留意事項></div> <div>・既存資料がなく設計図は全て参考図となるため、施工時に不明な部分は監督者と協議の上で実施すること</div> <div>・安全対策を十分に講じること</div> <div>・工事に伴う諸申請は速やかに行うこと</div> | | | |

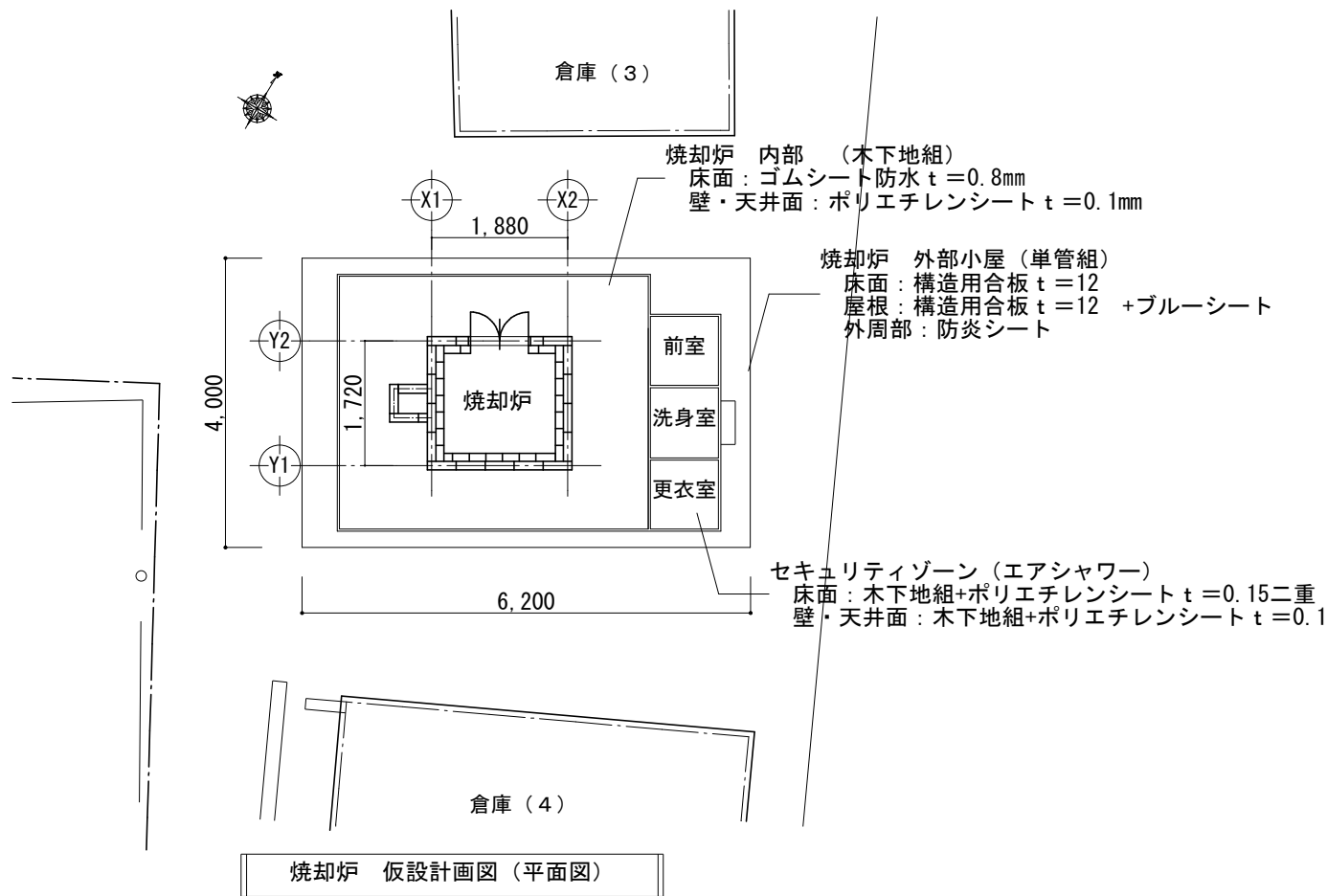
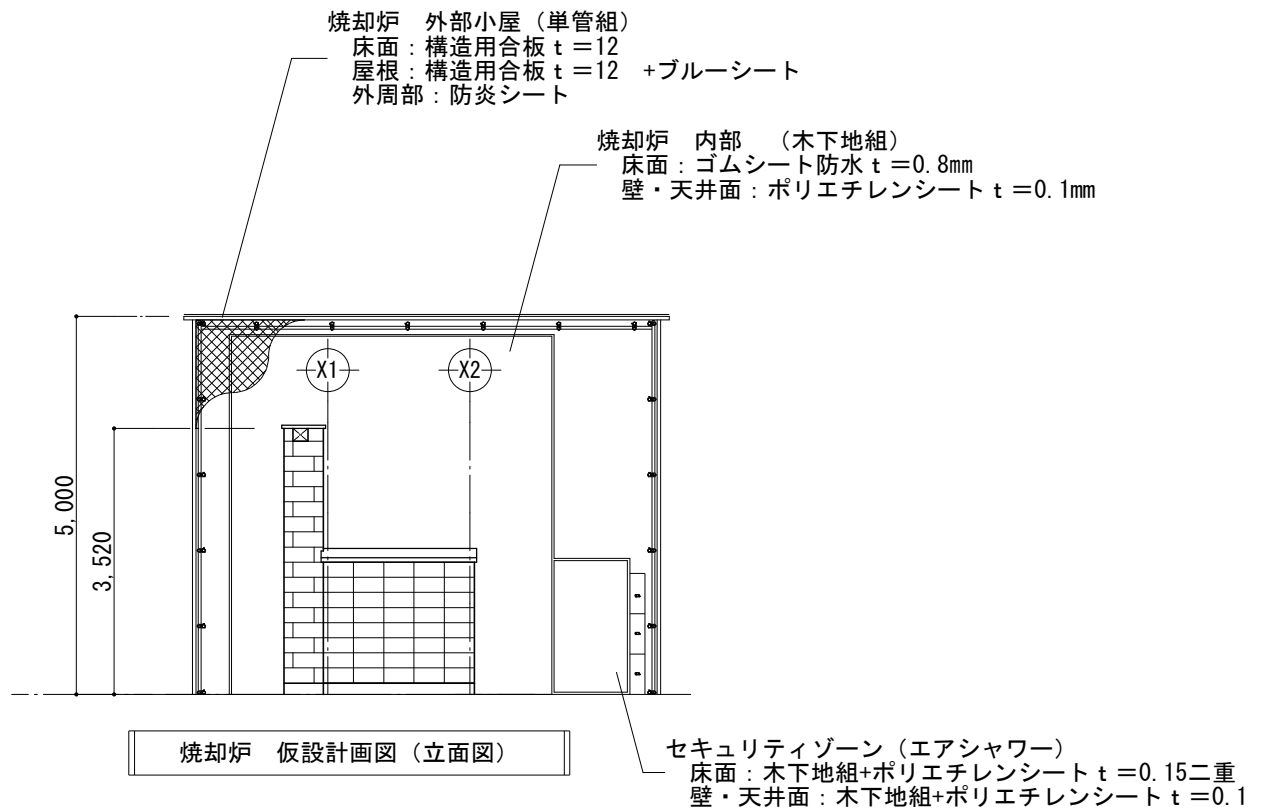
解体対象（焼却炉）



- : 解体建物を示す
- : 作業員駐車場
- : 搬入搬出経路



| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|-----------|------|-----|----|-------------|------------------|-------------|------------------|
| 〒034-0094 青森県十和田市西二十二番町2-4 1 TEL 0176(25)2100 (代) FAX 0176(25)2101 | | | 校印 | 主任担当 | 担当 | 担当 | No. | 工事名 | 図面番号 | 設計 |
| 一級 青森県知事登録 第397号 | | | 株式会社 石川設計 | 加賀沢 | 加賀沢 | 新田 | 2572-00 | 七戸養護学校焼却炉解体工事 | A-003 | 1級建築士登録第 328640号 |
| | | | | | | | 設計年月日 R8. 3 | 図面名称 平面図、矩計図、立面図 | 縮尺 A3: 1/50 | 加賀沢 香 |



| |
|------------------|
| (1) 事前調査及び処理計画 |
| (2) 仮設管理区域設置 |
| (3) 安全衛生設備等設置 |
| (4) 作業前片付・仮設小屋設置 |
| (5) 汚染区域の密封養生 |
| (6) 堆積灰等撤去 |
| (7) 付着物洗浄除去 |
| (8) 付着物除去の確認 |
| (9) 密封養生撤去 |
| (10) 仮設設備機材等搬出 |
| (11) 仮設密封区域解除 |
| (12) 清掃 |
| (13) 産業廃棄物の運搬・処分 |
| (14) 検査 |
| (15) 記録 |
| 完了 |

※第1管理区域
※保護具はレベル1とする

- 事前調査及び処理計画
事前調査（汚染付着物のサンプリング）と処理計画及び処理計画書等を作成する。
- 仮設管理区域設置
処理作業以外の立入禁止区域を決定『立入禁止』表示を行う。
- 安全衛生設備等設置
エアシャワー、集じん排気装置、化学防護服、マスク等、汚染廃水貯留タンク等の準備設置をする。
- 作業前片付・仮設小屋設置
区域内の取外し、移動可能な物品の片付をし、仮設小屋の組立、設置をする。
- 汚染区域の密封養生
ポリエチレンフィルム等による壁面、天井面の密封養生をし、必要に応じて木下地等により下地を組み養生する。床面は防水養生をする。
- 堆積灰等撤去
堆積灰撤去到先立ち散水等により湿潤な状態にし、丈夫な廃棄袋に入れ仮保管場所へ保管する。
- 付着物洗浄除去
焼却炉等はハンドガンを使用し高圧洗浄機により汚物付着物の洗浄除去を行う。
ハツリ残渣は、容器に入れた後仮保管場へ移動する。
洗浄廃水は仮設廃水貯留タンクへポンプアップし、容器に入れた後仮保管場所へ移動する。
- 付着物除去の確認
廃棄物として処理する解体物については目視により付着物除去の確認を行い写真により記録を残す。
- 密封養生撤去
密封養生を撤去し、管理区域を開放する。
- 仮設設備機材等搬出
安全衛生設備等は清掃等を行い取外し、搬出する。
- 仮設密封区域解除
養生等を取り除いた後に清掃し密封区域の解除。
- 清掃
周辺にごみ等が落ちてないか、確認する。
- 産業廃棄物の運搬・処分
収集、運搬及び処分の許可の有する業者へ委託を行う。
- 検査
工事記録を作成するとともに、発注者等に工事完了報告をして、完成検査を受ける。
- 記録
作業環境測定分析等30年間保存する。